



取扱説明書

保証の明細付

KE-7**

- ※KJ-7 (H) はハンガー付きを表す
- 製品記号は、座面の裏側にラベルで表示してあります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

この度はイトーキ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この説明書は製品の使い方と、ご使用上の注意を記載しています。お読みになったあと、いつもそばに置いて、わからない時にご再読ください。また、製品をほかの方に渡す時には、必ずこの取扱説明書と一緒にお渡しください。

保証の明細

お使いの弊社製品が、取扱説明書、本体貼付のラベル等の注意事項による正常なご使用状態のもとで故障した場合、下記保証期間をご参照のうえ、お買求めの販売店へご連絡ください。転居されたり、譲渡された物の修理等でお困りの場合には、イトーキお客様相談センターへご相談ください。

■保証項目

保証書がご入用の場合は、お買求めの販売店に、別途保証書の発行をお申しつけください。お買上げ日は保証書に記載します。

●保証期間は、「一般社団法人日本オフィス家具協会 (JOIFA)」のガイドラインに準拠して、お買上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年保証	外観表面仕上げ	塗装・張地(皮革を含む)の変色、褪色、摩耗
2年保証	機能	イスの上下・回転・ロック機構・キャスター
3年保証	構造部材	座部・背もたれ部・肘掛け部・脚部の構造部材

上記の保証期間は、一般のオフィスにおいて、通常の執務状態(1日8時間程度)で使用した場合を想定してためたもので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使用方をする所での保証期間ではありません。※保証項目は、各機種共通とさせていただきます。

- 保証期間経過後の修理については、有料とさせていただきます。(修理によって機能の維持が出来る場合のみ。)
- 保証期間内でも以下の場合には有料とさせていただきます。
 - ・取扱説明書や貼付ラベル等に従って使用されていない場合の故障または破損。
 - ・中古品、第三者からの譲渡品・転売品の故障または破損。
 - ・異常な環境下(高温・多湿など)でのご使用や保管による故障または破損。
 - ・天然材料(木・革など)における色調、光沢等の質感の違い。
 - ・お客様による納品後の移動や運搬による故障または破損。
- 保証書がない場合または当社以外から納品の既使用品の場合は、製造年月日より換算(1年2年3年と)しております。

■JOIFA標準使用期間について

JOIFA標準使用期間:注意喚起が目的で、耐用年数や保証期間ではありません。

一般社団法人日本オフィス家具協会 (JOIFA) では、改正消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件(注)で、安全上支障なくご使用できる期間として、自主的に「JOIFA標準使用期間」を設定致しました。この期間は製品の無償保証期間とは異なります。通常製品は右のバスタブ曲線が示すように、この期間の末期から、経年劣化などによる故障が増大することが考えられます。その場合に、点検・整備や部品交換で継続使用いただくか、ご使用に耐えない場合には、買い換えをお勧めさせていただきます場合も有ります。

JOIFA標準使用期間の終期は、製品に貼付されているラベルをご確認ください。製造年にJOIFA標準使用期間を加えた年の年末となります。

(注)品目別の使用条件は、JOIFAのホームページ(https://www.joifa.or.jp/)をご覧ください。
※保証期間及びJOIFA標準使用期間の内容につきましては、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証対象外の場合

- 火災・天災による故障または破損。
- 改造またはご使用者の責任に帰すると認められる故障または破損。

■部品の保有期間について

●補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。(エコマーク対象品は10年間です。)補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。
※仕様については予告なしに変更する場合があります。

■製品と修理(修理の範囲・修理に必要な期間)に関するお問い合わせ

イトーキお客様相談センター ☎0120-164177 https://www.itoki.jp/

■取扱説明書を紛失した場合

上記1-キお客様相談センター、またはお買求めの販売店にお申しつけください。

■製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は法令に従った適切な廃棄処理をお願いいたします。ご不明な点はご相談ください。

株式会社イトーキ

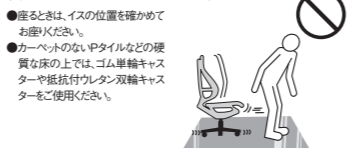
お客様相談センター ☎0120-164177 https://www.itoki.jp/

1 △安全上の注意事項

安全に正しくお使いいただくため、必ずお守りください。

⊘ マークは禁止行為を表わします。

△警告 滑りやすい床面で使わないでください。転倒してけがをすることがあります。



△注意 座面や足掛けリングに立って作業をしないでください。転倒してけがをすることがあります。



△注意 座面がぐらついたり、異音を生じたまま使わないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。



△注意 肘掛けに腰掛けたり、のったりしないでください。転倒してけがをすることがあります。



! このマークは行為の指示を表わします。

△注意 座面の前縁部に腰掛けしないでください。転倒してけがをすることがあります。



△注意 運搬に使用するなど、用途以外で使わないでください。転倒してけがをすることがあります。



△注意 回転部や可動部の隙間に指を入れないでください。はさまれてけがをすることがあります。



△注意 「パーツ交換の方法」で説明されているパーツ以外を分解しないでください。けがや故障の原因となります。



△イスの移動についての注意事項

- ① 移動の際は、背もたれ上部を持つようにしてください。
- ① 移動の際は、過大な力を加えないでください。部品が破損する原因になります。
- ① 座面や肘掛け、ハンガーをつかんでイスを持ち上げないでください。座面や肘掛けが外れる原因になります。

△注意 居室の換気をせざるに使用しないでください。

必要換気量の求め方

$$\text{必要換気量} = \frac{20 \times \text{居室の床面積}(\text{m}^2)}{1 \text{人当りの占有面積}(\text{m}^2/\text{h})}$$
(注1) 左式の「20」は20(m³/h・人)の意味ですが、この根拠は成人男子が静かに座っているときのCO₂排出量に基づいた必要換気量です。
 (注2) 居室では1人1当りの占有面積が10(m²)を超える場合は、10(m²)とします。

注意の種類の規定:

一般社団法人日本オフィス家具協会 (JOIFA) による次のような危険性の規定に基づいています。

△警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。

△注意 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。

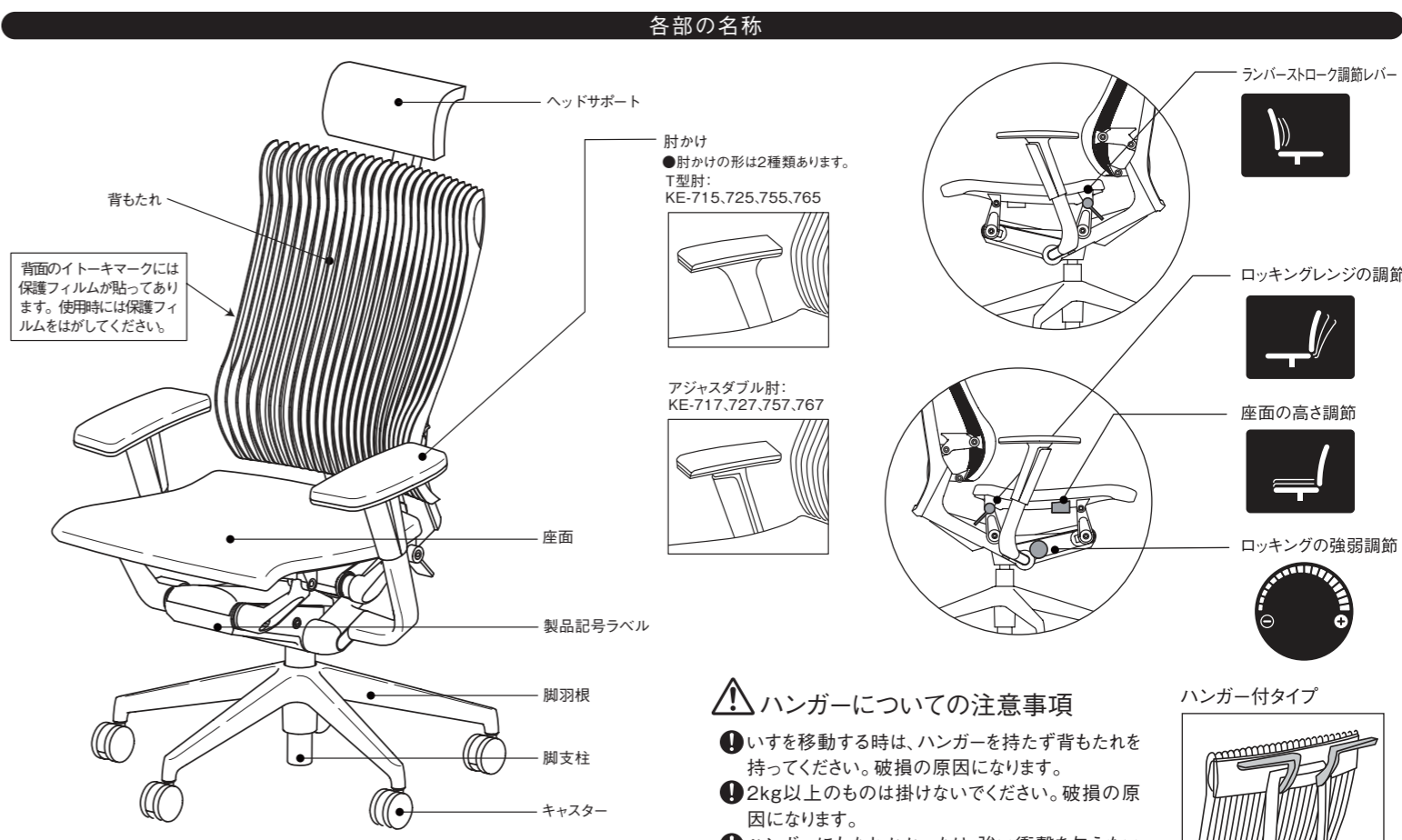
2 △使用上の注意事項

- ① 調節機能を操作する際は、周囲の安全に十分注意して行なってください。
- ① 安全のため、可動部分・隙間には指や手を入れないでください。
- ① Pタイルのような硬質床で本製品を使用すると、キャスターが転がりすぎて転倒してけがをすることがありますので、必ず、カーペットまたはチェアマットの上でお使いください。
- ① フローリングや軟質塩化ビニール床での本製品のご使用は、キャスターでキズ・凹みが発生することがありますので、カーペット等を敷いてのご使用を推奨いたします。
- ① 背部、座部を机やワゴン等の仕器に当たらない(打ち付けない)でください。張地に傷み、擦り切れ、凹みが発生するおそれがあります。
- ① 可動部に注油をしないでください。油がたれて、床や衣類を汚す原因になります。
- ① 直射日光が当たる所でのご使用はさけてください。紫外線による色変わりや色あせのおそれがあります。
- ① ボルトやネジがゆるんだまま使わないでください。故障の原因になることがあります。ガタツキが生じている部分のボルトやネジを締め直してご使用ください。
- ① 製品の購入当初は化学物質の発散の多い事があります。暫くの間は、換気や通風を十分に心掛けてください。また、室内が高温(温度28℃、相対湿度50%超えが目安)になる場合には窓を締め切らないか、強制換気をしてください。

△皮革の取り扱い方法

- ① 硬いものが当たるとキズがつきます
鋭利な角のあるものをぶつけたたり、硬質なものですと表面にすりキズがつきます。
- ① 色やシワは揃えられません
皮革には動物の固体差があり、製品によって若干違う場合があります。
- ① 直射日光や乾燥で劣化します
直射日光に長く当たったり、極度の乾燥状態におくと色褪せやひび割れを生じます。
- ① 生体の傷があります
小さなキズが見られる場合がありますが、それは動物が生きていたときに受けたキズです。
- ① 皮革はのびます
使用している間に皮革がのびて、購入時にはないシワができることがあります。

3 スピナーチェアの機能・調節



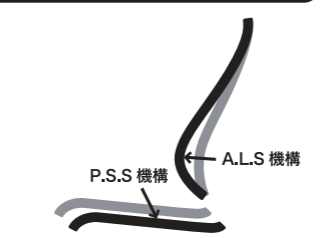
アングルムーブ・シンクロロック機構

体重を後ろにかけると、くるぶしを支点に座面と背もたれが、1:3.9の割合で一体となって後傾します。後傾時に座の前縁が上がりず大腿部の圧迫がありません。腰と背中をつねに安定して支え、業務に応じた姿勢にフィットするため、体に無理な負担をかけません。



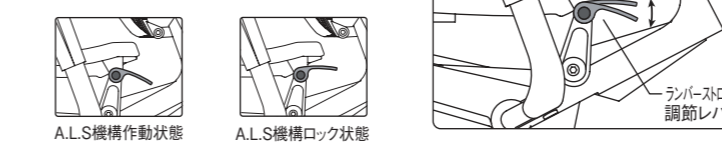
P.S.S機構 A.L.S機構

浅掛け時もしっかり腰をサポートする新機構。座ると座面が沈み込みながら後方にスライドし(Passive Slide Seat)、同時に背もたれランバー部が前方にせり出します(Active Lumbar Support)。



ランバーストローク調節

アクティブランバーサポート(A.L.S)機能を止め、背もたれランバー部の前方へのせり出しを止める事ができます。「レバーをロック状態から作動状態に戻した時は、ランバー部を一度後方に押し込んでください。」



ヘッドサポートの調節

適合機種: KE-725,727,765,767

- 高さの調節
ヘッドサポートの高さは80mmの範囲で調節できます。ヘッドサポートを持って、上下に動かして調節してください。
- 角度の調節
ヘッドサポートの角度は無段階、30°の範囲で調節できます。ヘッドサポートを持って、回転させて調節してください。

△ヘッドサポートについての注意事項

- ① ヘッドサポートにもたれかかるなど、過大な力を掛けないでください。破損やけがの原因になります。
- ① ヘッドサポートを過大な力で上下させないでください。部品が破損する原因になります。
- ① ヘッドサポートを操作する際、ヘッドサポートの支柱部分を持たないでください。すきまなどに指などをはさんでけがをする原因になります。

△ハンガーについての注意事項

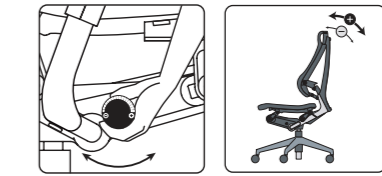
- ① イスを移動する時は、ハンガーを持たず背もたれを持ってください。破損の原因になります。
- ① 2kg以上のものは掛けしないでください。破損の原因になります。
- ① ハンガーにもたれかかったり、強い衝撃を与えないでください。破損の原因になります。
- ① コートのような背丈の長い服は掛けしないでください。床に着いて汚れの原因になります。



ロック機構の強弱調節

① 固さを調節するときは必ず、背が直立の状態で行なって下さい。(背にもたれないで下さい。)背にもたれた状態では、強弱調整ノブの回転が重くなります。

背座の後傾の固さは座面右下下にあるノブで調節します。



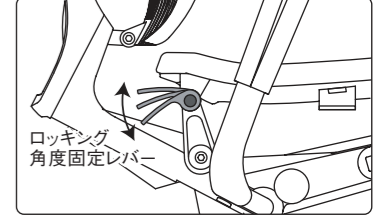
柔らかくするとき / 左回り
固くするとき / 右回り

ロック機構の強弱の目安

背もたれに軽くよりかかると、背中をささえながら傾き、戻るときは背もたれが自然についてくる程度が適度な固さの目安です。

ロック機構のレンジ調節

① ロッキング角度固定レバーを操作してもロック状態に変化が無い場合は、軽く腰を浮かせてください。



初期固定
座面右後方のレバーを上げると、背もたれを直立の状態固定出来ます。

ミドルレンジ
座面右後方のレバーを一段下げると、背もたれが10°まで後傾可能となります。

フルストローク
座面右後方のレバーを二段下げると、背もたれが20°まで後傾可能となります。

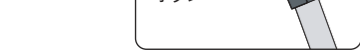
3 スピーナチェアの機能・調節

ベンディングシート	座面の高さ調節	座面高さと着座姿勢の目安
<p>座面内部は空洞で、細かいスリットを入れたインナーシェルを左右から吊った構造になっています。荷重に合わせて座面が自然にたわみ、体重を適度に分散して支えます。血行を妨げず、安定した座り心地です。また、スリットから体温を発散し、ムレを防ぎます。</p>	<p>座面を高くするとき</p> <p>必ず座面に腰掛け、座面右下ガス上下調節レバーを上につきます。座ったまま少しづつ腰を浮かすと座面が上がります。希望の高さになったらします。</p>	<p>パソコン中心の作業のとき</p> <p>座面はやや低めで、後傾姿勢が適しています。</p>

アジャスタブル肘の調節機能

高さの調節

肘かけ前部の上下調節ボタンをおしながら、肘かけを希望の高さに合わせて、手をはなします。



適合機種：KE-717,727,757,767

⚠肘かけ部を持ってイスの持ち運びはしないでください。

4 点検・お手入れ

点検	お手入れ
<p>⚠注意 ボルトやネジがゆるんだまま使用すると、本体がこわれてけがをすることがあります。</p> <p>ネジのゆるみ</p> <p>使用中にボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は、増し締めをしていただくことが長持ちの秘訣です。早めの増し締めをお願いします。</p> <p>異音の発生</p> <p>ロッキング部やキャスターから異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お買求めの販売店にご連絡ください。</p>	<p>快適にお使いいただくため、メンテナンスをお願いいたします。</p> <p>背もたれ・座面の裏部、脚部のお手入れ</p> <p>きれいな布を水にぬらし、固く絞ってふいてください。汚れのひどい時には、うすめた中性洗剤溶液でおふきください。背もたれ(樹脂バックタイプ)のリブ根本の埃は、毛先の柔らかいブラシ等で取り除いてください。</p> <p>⚠ シンナー、アルコール類の使用は避けてください。変色する場合があります。</p> <p>⚠ アルミ材をお手入れの際は、乾いた布で水分をふき取ってください。水分が付着したまま放置すると、さびや変色の原因となります。</p> <p>布地・クッション部のお手入れ</p> <p>手ではたくか、電気掃除機でほこりを吸いとってください。クッション部の汚れがひどい場合には、新しいクッションとの交換をおすすめします。</p>

皮革張り部のお手入れ

日常のメンテナンスの場合、綿100%の布で乾拭きしてください。食べ物などを付着させてしまった場合、硬く絞った綿100%の布で汚れを拭きとったあと、乾拭きしてください。長期使用した際の汚れの場合、中性洗剤を水で3%にうすめた洗浄液を作り、洗浄液を硬く絞った綿100%の布で汚れを拭きとったあと、水拭き、乾拭きして表面の洗浄液を取り除いてください。

皮革の取り扱い方法
<p>硬いものが当たるとキズがつきます／ 鋭利な角のあるものをぶつけたり、硬質なものですと表面にすりキズがつきます。色やシワは揃えられません／ 皮革には動物の個体差があり、製品によって若干違う場合があります。直射日光や乾燥で劣化します／ 直射日光に長く当てたり、極度の乾燥状態におくと色褪せやひび割れを生じます。生体のキズがあります／ 小さなキズが見られる場合がありますが、それは動物が生きていたときに受けたキズです。皮革はのびます／ 使用している間に皮革がのびて、購入時にはないシワができることがあります。消毒や除菌をすると変色・色落ち・劣化します／ シンナー・エタノール・アルコール・次亜塩素酸水・次亜塩素酸ナトリウム・化学クロス・靴用の汚れ落としなどの類は使用しないでください。</p>

5 故障かな?と思ったら

現象	ご対応
キャスターが転がりすぎる。	●Pタイル等の硬質の床面では、ゴム単輪又は抵抗付ウレタン双輪キャスターをご使用ください。
座が下がらない。	●ガス上下調節レバーの操作をする時、座面の中央部に体重をかけていますか。●座面が最低位置になっていませんか。
座が上がらない。	●ガス上下調節レバーの操作をする時、座面から腰を浮かせていますか。●座面が最高位置になっていませんか。
ガス上下調節レバーを操作しなくても座が下がる。	●ガス上下調節レバーを操作しない状態で座面が1～2cm下がる現象は、タックリングとい、着座時の衝撃を緩和する上下ガスシリンダーに備わった機能です。
シートアングルストッパーが動かない。	●背もたれに負荷(体重)をかけていませんか。背もたれに負荷(体重)をかけずに操作をしてください。
座面の奥行き調節ができない。	●座面前側に荷重がかかっていませんか。●座面の奥行きが一番短い状態もしくは長い状態になっていませんか。
ロッキングの固定ができない。	●シートアングルストッパーが「カチツ」と音がするまで操作されていますか(半がかりの状態になっていませんか)。
ロッキング強弱調節ノブが回らない。	●ロッキング強弱調節ノブが最強または最弱の状態になっていませんか。●背をもたれた状態でロッキング強弱調節ノブを回していませんか。
ランバーがでない。	●背もたれから背中を離れていますか。●A.L.Sストッパーを下に下げていますか。
異常な音がする。	●ロッキング部やキャスターから異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お買求めの販売店にご連絡ください。
クッション部の汚れが落ちない。	●「お手入れ」の処置をしても汚れが落ちないときは、新しいクッションもしくは縫製品とのパーツ交換をおすすめします。
背もたれ・座面にシワがある。	●長時間の着座など、使用状況によってはシワが発生することがあります。●生産のばらつきにより、微細なシワが生じることがあります。
左右のアジャスタブル肘の高さが違う。	●左右の調節段階(11段階)は一緒ですか。●調節段階が同じでも、生産のばらつきにより若干の高低差が生じる時があります。
左右のアジャスタブル肘の調節時の作動力が違う。	●お客様の体格によっては、左右の作動力が違うように感じる場合があります。●生産のばらつきにより、左右の作動力には若干の差が生じる時があります。

⚠ 不具合が直らない場合は使用を中止し、お買上げ販売店までご連絡をお願いいたします。

6 品質表示

	記号の説明:■には次の記号が入ります。0…肘なし 5…固定肘付 7…可動肘付	記号の説明:□には次の記号が入ります。5…脚・背フレームブラケット・肘ブラケット／アルミダイカスト粉体塗装 9…脚・背フレームブラケット・肘ブラケット／アルミダイカストミラー仕上げ																
機種	KE-72■GV-T1	KE-72■GV-Z□	KE-72■LA-Z□	KE-71■GV-T1	KE-71■GV-Z□	KE-71■LA-Z□	KE-76■GV-T1	KE-76■GV-Z□	KE-76■LA-Z□	KE-75■GV-T1	KE-75■GV-Z□	KE-75■LA-Z□						
項目	クロスバックタイプ			レザータイプ			クロスバックタイプ			レザータイプ			エラストマーバックタイプ			レザータイプ		
寸法(単位:mm)	肘なし:480／T型肘650／アジャスタブル肘650～740																	
幅(脚部除く)																		
奥行き(脚部除く)	665						640			665			640					
高さ	1190～1305 ヘッドサポート上端部(1270～1385)						1030～1145			1190～1305 ヘッドサポート上端部(1270～1385)			1030～1145					
座面前縁の高さ(調節範囲)	475(475～590) ※着席時440(440～555)																	
重量(単位:kg)																		
肘なし	—	—	—	20.6	21.4	—	—	—	—	21.2	22.0	—						
固定肘付	24.3	25.1	25.7	23.4	24.2	24.7	24.9	25.7	26.0	24.0	24.8	25.0						
可動肘付	24.7	25.5	26.1	23.8	24.6	25.1	25.3	26.1	26.4	24.4	25.2	25.4						
構造部材																		
座部インナーシェル	ポリプロピレン																	
座部アウターシェル	ポリアミド+ガラス																	
背板	ポリプロピレン+ウレタン+張り材						熱可塑性ポリウレタンエラストマー											
背フレーム	ポリアミド+ガラス																	
背フレームブラケット	金属(アルミ)																	
ランバーフレーム	ポリアミド+ガラス																	
座受け部	金属(鋼)																	
肘掛け部(表皮材)	肘なし — /肘付 熱可塑性ポリウレタンエラストマー																	
肘支柱部	肘なし — /固定肘付 金属(アルミ) /可動肘付 金属(鋼)																	
肘ブラケット	肘なし — /肘付 金属(アルミ)																	
ヘッドサポートクッション	ポリプロピレン+ウレタン+張り材				—				ポリプロピレン+ウレタン+張り材				—					
ヘッドサポートアウターシェル	ポリアミド+ガラス				—				ポリアミド+ガラス				—					
ヘッドサポート支柱本体	ポリアミド+ガラス				—				ポリアミド+ガラス				—					
脚羽根部	ポリアミド+ガラス	金属(アルミ)		ポリアミド+ガラス	金属(アルミ)		ポリアミド+ガラス	金属(アルミ)		ポリアミド+ガラス	金属(アルミ)							
脚支柱部	金属(鋼)																	
表面加工	座受部:エポキシポリエステル樹脂塗装／アルミ脚、背フレームブラケット、肘ブラケット:ポリエステル樹脂塗装又はミラー仕上げ																	
張り材	GV:再生ポリエステル59% ポリエステル41%(背座) / LA:皮革(背裏)、ビニールレザー(背裏)						GV:再生ポリエステル59% ポリエステル41%(座) / LA:皮革(座)											
クッション材	ウレタンフォーム																	
ハンガー	ポリアミド																	

「家庭用品品質表示法」にもとづく表示

7 パーツ交換の方法

下記の部品は、ご使用者の手で交換できます。消耗、破損の際は、下記をよくお読みのうえ、部品を交換して末永くご使用ください。

背もたれの交換は、お買求め先の弊社担当者までご連絡をお願いします。

⚠安全上の注意事項 ㊦マークは禁止行為を表わします。❗このマークは行為の指示を表わします。

⚠警告 交換するパーツ以外は触れないでください。 **⚠注意** パーツを交換するときは座面を最高位にし、ガスシリンダーやスプリングなど高圧パーツを分解すると、座面が急上昇して、けがをすることがあります。 **⚠注意** パーツ交換作業中は、手袋をしてください。指をはさむなど、けがをすることがあります。

注意の種類の規定:一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)による次のような危険性の規定に基づいています。

⚠警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。 **⚠注意** 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。

座クッションの交換	キャスターの交換
<p>■取り外し</p> <p>①座の裏側のビスを外します。 ②座を持ち上げると、座が外せます。(4ヶ所)</p> 	<p>①イス本体を、安定した所へ横向きに置いてください。 ②脚羽根とキャスターの隙間にマイナスドライバーを差し込み、こじるように動かしてキャスターを外してください。 ③新しいキャスターをしっかりと奥まで差し込んでください。使用時に外れると、怪我をする恐れがあります。</p> <p>⚠キャスターについての注意事項</p> <p>❶キャスターは消耗品です。破損・異音等の異常が発生した場合は速やかな交換をお勧めします。</p> <p>⚠ナイロン双輪キャスターを選ばれた時の注意事項</p> <p>❶Pタイルのような硬質床でナイロン双輪キャスターを使用すると、キャスターが転がりすぎて転倒して怪我をするおそれがありますので、抵抗付ウレタン双輪キャスターまたはゴム単輪キャスターをお選びください。</p> <p>❷軟質塩化ビニール床でのナイロン双輪キャスターの使用は避けてください。ナイロン双輪キャスターで床面にキズ・凹みが発生することがあります。</p> <p>抵抗付ウレタン双輪キャスター・ゴム単輪キャスターを選ばれた時の注意事項</p> <p>❶軟質塩化ビニール床に含まれる可塑剤が抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部やゴム単輪キャスターのゴムを侵し、破損・色移り等の不具合が発生する可能性があります。</p> <p>❷抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部は、使用環境により大ききばらつきますが、加水分解により自然に経年劣化します。また、床面のワックス清掃時に使用される剥離剤によっても劣化が促進されますので破損した場合は早めのキャスター交換をおすすめします。</p>

※肘付タイプの場合は、M8用六角レンチを使用して肘を取り外してから座の付け外しをしてください。

■取り付け 座取り外しと逆の手順で行なって下さい。